

### 1 自己評価及び外部評価結果

**事業所概要 (事業所記入)**

事業所番号	1990800011		
法人名	ルミナス株式会社		
事業所名	グループホームひかり昭和西条		
所在地	中巨摩郡昭和町西条 2092		
自己評価作成日	平成22年12月26日	評価結果市町村受理日	

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigo-kouhyo-yamanashi.jp/kaigosip/Top.do">http://www.kaigo-kouhyo-yamanashi.jp/kaigosip/Top.do</a>
----------	---

**評価機関概要 (評価機関記入)**

評価機関名	山梨県社会福祉協議会		
所在地	甲府市北新 1 - 2 - 12		
訪問調査日	平成23年1月18日		

**事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点 (事業所記入)**

毎月必ず1回は外出行事を行い、気分転換や四季を感じて頂けるようにしている。また、敬老会やクリスマス会には家族の方々にも参加頂き、交流を深めている。
---

**外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点 (評価機関記入)**

甲府盆地の中央に位置するこの事業所は、新興住宅地にあり広い敷地に平屋建築で地域密着型サービスにふさわしい環境の中にある。玄関はスロープがあり、中に入ると大きな蘭の花がほほ笑んだように迎えてくれる。西と東、2ユニットに別れ車椅子の往来もゆったりと出来る。理念に「ひかり」と掲げている。太陽のひかりも充分満喫できる。暖かいフロアで利用者はゆったりと新聞を読んだりテレビを見たりと自分の好きなように時間を過ごしている。春から畑仕事が始まり、耕運機を使いたくさん野菜をつくっている。自家製野菜の収穫も利用者の楽しみとなっている。若手の職員は経験豊かな利用者の指導を受け、共に働き生活している。最新のストーン足湯を導入するなど健康面にも工夫を凝らした様子が伺える。
---

**サービスの成果に関する項目 (アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当するものに印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目 23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の 2/3 くらい 3. 利用者の 1/3 くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目 9,10,19)	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の 2/3 くらいと 3. 家族の 1/3 くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目 18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目 2,20)	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目 38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の 2/3 くらいが 3. 利用者の 1/3 くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目 4)	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目 36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の 2/3 くらいが 3. 利用者の 1/3 くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働いている (参考項目 11,12)	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の 2/3 くらいが 3. 職員の 1/3 くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目 49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の 2/3 くらいが 3. 利用者の 1/3 くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の 2/3 くらいが 3. 利用者の 1/3 くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目 30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の 2/3 くらいが 3. 利用者の 1/3 くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の 2/3 くらいが 3. 家族等の 1/3 くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目 28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の 2/3 くらいが 3. 利用者の 1/3 くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

事業所名 グループホームひかり昭和西条

セル内の改行は、(Alt+ )+ (

自己	外部	項目	自己評価 (実践状況)		外部評価	
			ユニット名 (西)	ユニット名 (東)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>理念に基づく運営</b>						
1	(1)	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ひとに光を！を理念とし、利用者・家族・スタッフに光ある環境を提供できるよう心がけ、日々のケアをしている。	法人の運営理念として「ひとに光を！」掲げ、利用者だけでなく、その家族、また、日々ケアを提供させて頂くスタッフの3者にとって光ある環境を提供すべく管理者がスタッフへ啓蒙し日々のケアの基本概念とさせて頂いている。	「ひとに光を」の理念は解かりやすい言葉だが大きな意味を持っている。思いやり暖かさ 導きを持って介護に励んでいる。管理者と職員は理念を胸に利用者の支援に務めている。	家族や来客が来て共有できる「ひかり」の輝くような文字の理念の掲示に期待したい。
2	(2)	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	利用者と一緒に散歩や買い物に出かけた際、小学生・近隣の方々にこちらから挨拶するようにしています。	毎日の散歩や買い物に出かけた際、近隣の皆様はこちらから挨拶するようにしている。また、近所の小学生などが時々訪れては、お菓子を一緒に食べたり、一緒に遊ぶなどの活動をして頂いている。	小学校がすぐそばにある。元気な子供たちの声が聞こえる。子供が立ち寄り利用者とお茶を飲んだり孫のようにふれあう時がある。散歩や買い物時に会う近所の人には気軽に挨拶をし、近所付き合いに心掛けています。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地区の運動会・中学生の職場体験などで認知症の方のグループホームでの生活を感じていただけるようにしている。	近隣の中学校の生徒の職場体験インターンシップの受け入れや、地区の運動会の観戦等を通じ、地域の住民に認知症高齢者グループホームでの生活等を感じて頂けるように努めている。		
4	(3)	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議では、報告・評価を行い、グループホームでの生活がより良いものになるための話し合いを行っている。	会議では、報告・評価を行い、グループホームでの生活がより良いものになるための話し合いを行っている。	地域の区長・家族・町担当者・職員で定期的に会議を行っている。事業所の報告や予定の連絡、出席者の希望や要望を聞きながら話し合っている。内容を細かく議事録にとり、報告をして改善や向上に務めている。	
5	(4)	市町村との連携 市町村担当者や日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	随時、町の担当者へのホーム運営の状況や試みについての報告に伺い、新規利用者のアセスメント状況等についてもお話している。	随時、町の担当者へのホーム運営の状況や試みについての報告に伺い、新規利用者のアセスメント状況等についてもお話している。	月2回は、役場に出向き担当者に施設の様子を報告したり常にコミュニケーションを図っている。利用者の名簿や施設の改善（スプリンクラー）の取り付けなど町の担当者は親身になり相談に応じてくれる。	
6	(5)	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	毎月実施されているカンファレンスにおいて該当事例・考え方について検討・研修を行っている。	毎月実施されているカンファレンスにおいて該当事例・考え方について検討・研修を行っている。	玄関の施錠はしてなく、自由に出入り出来る。月に1度は揃って外出し、回転寿司など外食の楽しみもある。徘徊は見守り支援で付き添いやドライブで利用者の意向に沿って見守り支援に努めている。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	毎月、実施されているカンファレンスにおいて事例研修を行っている。また、日ごろから利用者の傷・あざ等を発見した際は発生理由の検証をし、防止に努めている。	毎月、実施されているカンファレンスにおいて事例研修を行っている。また、日ごろから利用者の傷・あざ等を発見した際は発生理由の検証をし、防止に努めている。		
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	主なスタッフは各研修会などへ参加し、学習する機会を持っているが、限られた職員となっている。	管理者は各研修会などへ参加し、学習する機会を持っているが、限られた職員となっている。		

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(西)	ユニット名(東)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解 納得を図っている	利用契約時、契約書・重要事項説明書の内容の説明を行い、随時、不明な点や疑問点などを回答し、理解頂いた上で入居頂いている。	利用契約時、契約書・重要事項説明書の内容の説明を行い、随時、不明な点や疑問点などを回答し、理解頂いた上で入居頂いている。		
10	6)	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者や家族からの要望や意見は、管理者を含めスタッフが随時承り、対応可能な場合は即対応し、不可能な場合も適切に説明している。	利用者や家族からの要望や意見は、管理者を含めスタッフが随時承り、対応可能な場合は即対応し、不可能な場合も適切に説明している。	毎月、外出行事等での写真を郵送している。家族の面会も多く、訪問時に職員は、お茶を出し現状を話しながら、家族の希望 要望を聞いて意向に沿うよう努力している。意見箱を設置しており、いつでも意見ができる状態にしてある。	
11	7)	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月のカンファレンスの場だけでなく、随時、スタッフからの提案があり、反映している。	毎月のカンファレンスの場だけでなく、随時、スタッフからの提案があり、反映している。	職員のアイデアや提案は気づいたら管理者に報告している。いつでも改善に繋げるように失敗を恐れず、経験をして成功に結びつける努力が伺える。お風呂場の脱衣所が寒いからと言うと、直ぐにヒーターが設置され、利用者は暖かい部屋で衣服の着脱ができるようになった。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境 条件の整備に努めている	代表者は、2010年10月度より新たにキャリアアップ制度を設け、管理者・スタッフが向上心を持ち日々のケアや自身の能力向上に取り組めるように職場環境の整備を行っている。	代表者は、2010年10月度より新たにキャリアアップ制度を設け、管理者・スタッフが向上心を持ち日々のケアや自身の能力向上に取り組めるように職場環境の整備を行っている。		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	スタッフ個々の経験や興味のある分野は異なるため、各研修についての案内を周知していることに加え、カンファレンスにおいてもポイントについての学習資料の配布などを行い、トレーニングに役立てている。	スタッフ個々の経験や興味のある分野は異なるため、各研修についての案内を周知していることに加え、カンファレンスにおいてもポイントについての学習資料の配布などを行い、トレーニングに役立てている。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	代表者は、県内各地にて開催される様々な研修への参加を推奨しており、訪問診療のドクターや、訪問看護師等を通じて他の事業所での試み等の情報交換を促す仕組みを整えている。	代表者は、県内各地にて開催される様々な研修への参加を推奨しており、訪問診療のドクターや、訪問看護師等を通じて他の事業所での試み等の情報交換を促す仕組みを整えている。		
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>						
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	初期の相談受付の際より本人との面談を行い、本人の人生史や今後の要望などを可能な限り伺い、正確に把握するよう心掛けています。また、できる限りホームを事前に見学して頂き、感じを掴んでいただいた上で利用を開始している。	初期の相談受付の際より本人との面談を行い、本人の人生史や今後の要望などを可能な限り伺い、正確に把握するよう心掛けています。また、できる限りホームを事前に見学して頂き、感じを掴んでいただいた上で利用を開始している。		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	初期の相談受付の際の家族との話に加え、家族の困っていることや不安な点、今後の要望などを可能な限り伺い、今後のケアや家族とのやり取りに役立たせていただいている。	初期の相談受付の際の家族との話に加え、家族の困っていることや不安な点、今後の要望などを可能な限り伺い、今後のケアや家族とのやり取りに役立たせていただいている。		

自己	外部	項目	自己評価 (実践状況)		外部評価	
			ユニット名 (西)	ユニット名 (東)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
17		初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談を受け付けた際は、担当のケアマネジャーや病院のソーシャルワーカーからの情報も集めた上で、本当にグループホームにおけるケアがその方にとって必要なのか、適切なのを見極め、家族と相談させて頂いている。また、必要に応じて他のサービスや地域包括支援センターの紹介を行い、問題の解決が適切に実施されるよう心掛けている。	相談を受け付けた際は、担当のケアマネジャーや病院のソーシャルワーカーからの情報も集めた上で、本当にグループホームにおけるケアがその方にとって必要なのか、適切なのを見極め、家族と相談させて頂いている。また、必要に応じて他のサービスや地域包括支援センターの紹介を行い、問題の解決が適切に実施されるよう心掛けている。		
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	管理者をはじめ、スタッフ一同、利用者の方々の持っている力や特技を把握し、相互支援しながらの共同生活をしている。他人を支援することも精神的安定や充実感を作るものだと理解している。	管理者をはじめ、スタッフ一同、利用者の方々の持っている力や特技を把握し、相互支援しながらの共同生活をしている。他人を支援することも精神的安定や充実感を作るものだと理解している。		
19		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族には、本人をケア・支援していく上で「私達スタッフにもできる内容と家族にしかできないことがある」ことを理解していただけるよう説明し、共に本人を支援していく体制を築いている。	家族には、本人をケア・支援していく上で「私達スタッフにもできる内容と家族にしかできないことがある」ことを理解していただけるよう説明し、共に本人を支援していく体制を築いている。		
20	㊸	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう 支援に努めている	家族・友人や以前の近所の人 職場の同僚の方々などに面会にお越し頂き、外出や外食の機会を積極的に設けて頂いている。	家族・友人や以前の近所の人 職場の同僚の方々などに面会にお越し頂き、外出や外食の機会を積極的に設けて頂いている。	家に帰りがたがり家族を恋しく思ったりしている様子を察し、電話で話をするように支援している。親戚や近所の知人が面会に来た時、職員は気持ちよい対応に心がけ、人としての絆が継続し途切れないようにしている。	
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	散歩 調理 清掃などの一般的な生活作業だけでなく、農作業等を含め、利用者それぞれの役割を可能な限り持っていただけるよう、スタッフが適宜お願いをしている。	散歩 調理 清掃などの一般的な生活作業だけでなく、農作業等を含め、利用者それぞれの役割を可能な限り持っていただけるよう、スタッフが適宜お願いをしている。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用 (契約) が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	他の施設等へ移られた後も、家族や担当の方からの相談には適宜応じるようにしている。	他の施設等へ移られた後も、家族や担当の方からの相談には適宜応じるようにしている。		
<b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>						
23	㊹	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の生活の歴史や今後はどのような生活を送っていきたいか等の要望を聞き、家族と話し合いながら支援していけるように努めている。	本人の生活の歴史や今後はどのような生活を送っていきたいか等の要望を聞き、家族と話し合いながら支援していけるように努めている。	利用者が入居する時、住み慣れた現地に行き、どのような暮らしをしていたかを把握している。若い頃の仕事、得意とする趣味、性格などを理解して職員は利用者の持っている力を引き出しながらリハビリを兼ね、身体を動かし和気あいあいと生活している。状況に合わせてケアプランの見直しをしている。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族からだけでなく担当ケアマネジャーにこれまでのサービスの提供経過とその経緯等伺っている。	家族からだけでなく担当ケアマネジャーにこれまでのサービスの提供経過とその経緯等伺っている。		

自己	外部	項目	自己評価 (実践状況)		外部評価	
			ユニット名 (西)	ユニット名 (東)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	業務の申し送りの際や日常生活時においても利用者の状態や変化、様子を把握し共有している。	業務の申し送りの際や日常生活時においても利用者の状態や変化、様子を把握し共有している。		
26	(10)	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	アセスメントやモニタリングをカンファレンスの際に実施し、家族との話し合いにおいてケアの内容の決定をさせて頂いている。	アセスメントやモニタリングをカンファレンスの際に実施し、家族との話し合いにおいてケアの内容の決定をさせて頂いている。	3か月ごとにモニタリングを行い、ケアプランの見直しをしている。職員会議やカンファレンスの時に話し合い、家族の意見や意向も取り入れながらプランを作成している。また、状況の変化があった場合は、その都度、プランの見直しをしている。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケース記録に日々の様子やケアの内容等について記述している。また、カンファレンス等においても、スタッフそれぞれの気づきや新たなアイデアを話し合う体制が整っている。	ケース記録に日々の様子やケアの内容等について記述している。また、カンファレンス等においても、スタッフそれぞれの気づきや新たなアイデアを話し合う体制が整っている。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	訪問看護サービスにより健康状態の把握に努め、筋力維持や拘縮予防のための訪問マッサージを受けている方もいる。	訪問看護サービスにより健康状態の把握に努め、効果が見込まれる利用者に対する筋力維持や拘縮予防のための訪問マッサージを導入している。		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域包括支援センターや役場の介護保険係、他のサービス事業所のケアマネジャー達と協力しながら、地域資源の活用を話し合いを随時行っている。	地域包括支援センターや役場の介護保険係、他のサービス事業所のケアマネジャー達と協力しながら、地域資源の活用を話し合いを随時行っている。		
30	(11)	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	受診は本人・家族の希望による医療機関に都度かかって頂いている。その他、希望がある場合には甲州リハビリテーション病院のドクターが毎月2回ほど往診に来ている。	受診は本人・家族の希望による医療機関に都度かかって頂いている。その他、希望がある場合には甲州リハビリテーション病院のドクターが毎月2回ほど往診に来ている。	利用者のかかりつけ医は本人や家族の希望により通院している。甲州リハビリテーション病院の医師の往診が毎月2回あり、健康診断をしている。緊急時は職員が付き添い病院に出向いている。入院の時は家族のように見舞い、回復したら自宅のように事業所に帰り、愛情の深まりを共有している。	
31		看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	甲州リハビリテーション病院付属の訪問看護ステーションより、毎週木曜日に看護師がきて、健康チェックをしている。また、日々のケアの中での気づき等を相談させていただいている。	甲州リハビリテーション病院付属の訪問看護ステーションより、毎週木曜日に看護師がきて、健康チェックをしている。また、日々のケアの中での気づき等を相談させていただいている。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	各医療機関のソーシャルワーカーや担当看護師、ドクターの方々との連携をとるために、入退院の際は必ず情報交換の機会を設けて頂いている。	各医療機関のソーシャルワーカーや担当看護師、ドクターの方々との連携をとるために、入退院の際は必ず情報交換の機会を設けて頂いている。		
33	(12)	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	家族や担当医の方々との積極的な話し合いの場を設け、重度化や終末期への対応方針について協議を行っている。また、地域包括支援センターへは随時、報告や相談を行っている。	家族や担当医の方々との積極的な話し合いの場を設け、重度化や終末期への対応方針について協議を行っている。また、地域包括支援センターへは随時、報告や相談を行っている。	ターミナルケアの受け入れはしていない。偶然、利用者が脳梗塞となり終末医療から看取りまでのケースがあった。医師・ナース・家族・職員との報告や連絡・相談を速やかに行い命の共有に努めた。	

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(西)	ユニット名(東)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	利用者の急変や自己発生時の対応、連絡方法は学んでいるが、応急手当の研修は未だ実施できていない。	利用者の急変や自己発生時の対応、連絡方法は学んでいるが、応急手当の研修は未だ実施できていない。		
35	(13)	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難・消防訓練の他、夜間想定訓練等を実施し、地域の方々との協力関係作りを努めている。	4月と1月に避難・消防訓練の他、夜間想定訓練等を実施し、地域の方々との協力関係作りを努めている。	年2回、夜間と昼間に地区の区長に協力を頂き、避難訓練を実施している。今年から消防署に呼び掛け、近所の訓練にも参加する計画をしている。緊急時の連絡網が解かり易く提示してある。	夜間宿直1名の緊急時には、近所の住民の手助けが重要不可欠となるので、消防署や近所の人と連携をとり、共同での避難訓練の実施を期待したい。
<b>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>						
36	(14)	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	毎月のカンファレンスにて、声かけや日々のケアについてスタッフは理解している。	毎月のカンファレンスにて、声かけや日々のケアについてスタッフは理解している。	排泄を済ませた利用者がズボンに使用した紙をつけたまま出てきた。職員はざりげなく紙を取り、ズボンを直し手洗いを介助していた。トイレ誘導は時間と様子を見て羞恥心を踏まえ言葉をかけている。ラブレターの書き方など笑いのある会話に自尊心の尊重、人生の先輩としての敬意を表す職員の支援体制が伺える。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり自己決定できるように働きかけている	本人が可能な限り自身の意思を伝達できるように声かけし、話を聞くように日々のケアを心がけている。	一方的なケアを提供するのではなく、適宜利用者本人希望を聞き、対応するケアを心がけている。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	業務だけでなく、利用者1人ひとりの生活リズムをつかみ、日々のケアに取り組んでいる。	業務だけでなく、利用者の状態や様子に応じて、当日のスタッフが変更可能な形をとっている。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	起床時に整容をして頂き、その人らしい身だしなみができるよう支援している。	整容は大切な生活の一部であるため、日々のケアもそれに基づき支援させて頂いている。		
40	(15)	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の前にはメニューの発表をし、食欲を出していただけるよう支援しています。また、テーブル拭き、下膳など出来る方には積極的にお手伝いいただいております。	調理担当のスタッフが在籍しておりますが、共に食事を取る介助を行うことにより、それぞれの趣向を把握するように努め、利用者の方々には力に合わせた補助を可能な方にはお願いしています。	フロアの前にある厨房で昼食の準備をしている。味噌汁や魚を焼く匂いは家庭の味、食欲を誘う。自分の茶碗と湯のみ、お箸は高熱殺菌するので事業所のものを共有している。オカラやハンバーグとメニューも豊富で利用者がテーブルを拭いたり、力をあわせた働きをしている。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分・食事の摂取量をスタッフが把握し、こまめに提供したり、好きな飲み物を出したりして、一人ひとりの習慣を尊重している。	水分・食事の摂取量をスタッフが把握し、こまめに提供したり、好きな飲み物を出したりして、一人ひとりの習慣を尊重している。		

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(西)	ユニット名(東)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう 毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後は声かけ誘導や介助により口腔ケアをして頂いている。	毎食後は声かけ誘導や介助により口腔ケアをして頂いている。		
43	(16)	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	オムツやリハビリパンツ等は可能な限り予備的な役割として活用し、スタッフによる声かけ誘導にて排泄できる体制を整えている。	オムツやリハビリパンツ等は可能な限り予備的な役割として活用し、スタッフによる声かけ誘導にて排泄できる体制を整えている。	女性の利用者は尿パットを使用して、さりげない声掛け誘導で支援している。誰もが気持ちよくトイレで排泄できるようリハビリパンツも常時身に付けない工夫を心がけている。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分・ヨーグルト等を摂取して頂いたり、体操・散歩を通じて便秘予防に努めている。	水分・ヨーグルト等を摂取して頂いたり、体操・散歩を通じて便秘予防に努めている。		
45	(17)	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	希望の方は毎日入浴できる体制が整っている。	希望の方は毎日入浴できる体制が整っている。	本人の希望により、いつでも入浴できる。大寒で脱衣所が寒かったのでヒーターを設置してもらい着替えも暖かくなった。夕方から声をかけ、職員の介助で順番に入浴を楽しんでいる。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者一人ひとりのペースにあわせ食休み等をして頂いております。	利用者一人ひとりのペースにあわせ食休み等をして頂いております。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬内容や副作用等、スタッフ一人ひとりが学習できる体制と整え、理解するよう努めている。	服薬内容や副作用等、スタッフ一人ひとりが学習できる体制と整え、理解するよう努めている。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	毎月1回以上の外出外食行事には利用者たちより希望を伺い、実現できるよう努めている。	毎月1回以上の外出外食行事には利用者たちより希望を伺い、実現できるよう努めている。		
49	(18)	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	本人の希望を聞き、家族と話し合いながら実現可能なものは実施させて頂いている。実際に以前の自宅に1泊されてきた方もいる。	本人の希望を聞き、家族と話し合いながら実現可能なものは実施させて頂いている。実際に以前の自宅に1泊されてきた方もいる。	月に1度は車椅子の利用者も一緒に外出をしている。四季折々、お花見やドライブを計画し自然のふれあいを体験している。回転寿司に出掛け、他人との出会い環境の違いなどの経験も学んでいる。外泊も希望に沿って家に泊まってくる利用者もいる。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人の希望により、一緒に買い物へ行き購入して頂いている。	原則、金銭の管理はホーム金庫にて行っているが、本人の希望により、時々、一緒にホームセンターやドラッグストアへ買い物へ行きお使い頂いている。		

自己	外部	項目	自己評価 (実践状況)		外部評価	
			ユニット名 (西)	ユニット名 (東)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話は利用者が家族といつでも連絡が取れる体制を整えている。	電話は利用者が家族といつでも連絡が取れる体制を整えており、家族からのお電話も都度、つないでいる。		
52	(19)	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間 (玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等) が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激 (音、光、色、広さ、温度など) がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間は整頓され、歩行時などに過度な障害物などがないように配置されている。また、リビングから覗ける菜園においても四季に合わせて野菜を作ったりしている。	共有空間は整頓され、歩行時などに過度な障害物などがないように配置されています。また、リビングから覗ける菜園においても四季に合わせて野菜を作ったりしている。	広い敷地に最新の介護設備を設け、暮らしやすい工夫を凝らした施設になっている。太陽の光も白く揺らくカーテンから届き心地よい。テレビの前にあるソファの下に足元から上半身浴できるストーンボールが設置してある。底冷えのある高齢者は足から暖まり健康に留意している。若い職員ならではの思いやりが居心地をよくしている。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングでは適度なスペースがあり、独りになれたり共に過ごしたりが可能な配置になっている。	リビングでは適度なスペースがあり、独りになれたり共に過ごしたりが可能な配置になっている。		
54	(20)	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には備え付けの家具は収納棚のみとなっており、その他の家財道具は持込頂いている。元々、住んでいた環境をそっくり持ってきて差し支えない空間を提供している。	居室には備え付けの家具は収納棚のみとなっており、その他の家財道具は持込頂いている。元々、住んでいた環境をそっくり持ってきて差し支えない空間を提供している。	部屋の入り口はネームプレートを掲げ、花やマークで解かり易くしてある。使い慣れたタンス、家族の写真が貼ってあり、自分だけの空間、部屋を感じる。ひとりではないフロアにみんながいる、そして話ができる。仲間としての繋がりを大切に過ごしている様子が伺える。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」わかることを活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下・トイレ・浴室には手すり設置されており、利用者が自然に活用いただけるように整備されている。また、トイレの位置も分かりやすくするため、サインを設けている。	廊下・トイレ・浴室には手すりが設置されており、利用者が自然に活用いただけるように整備されている。また、トイレの位置も分かりやすくするため、サインを設けている。		